

山行報告書

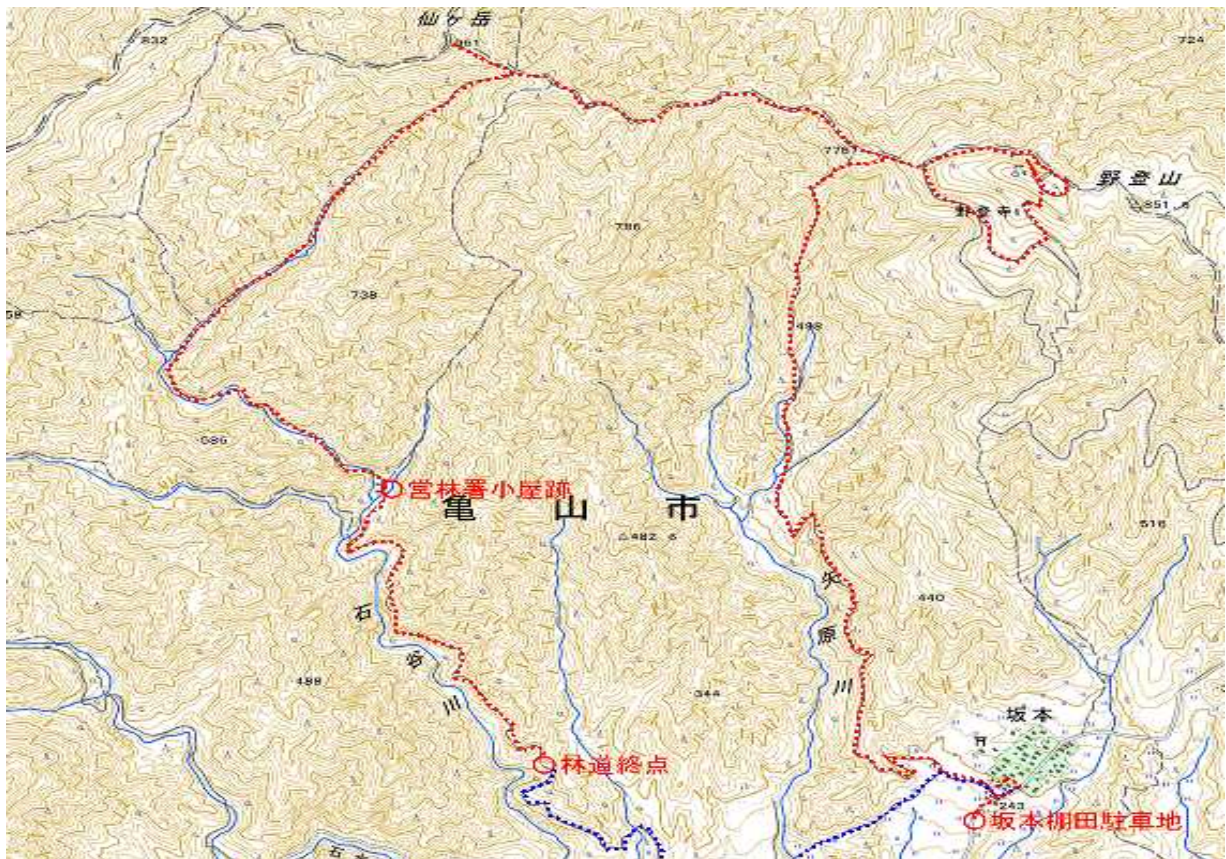
作成: 2012年04月12日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	野登山, 仙ヶ岳 [南鈴鹿]	目的[方法]	ミツマタ観賞と展望を楽しむ
期間	2012年4月8日(日)	形態	周回
参加人数	1人		

行動記録: 晴れ 歩行時間 約9時間(休憩含む)

自宅(510)=0:50=鈴鹿IC=ファミマ鈴鹿IC東店(600,610)=R306=R637=R302=13km, 0:20=坂本棚田駐車場(630,650)-0:45=ミツマタ群生地(735)-0:45=仙鷄尾根出合(820,830)-0:10=車道(840)-0:35=野登寺(915,950)-0:30=車道(10:20)-0:10=仙鷄尾根出合(1030)-1:30=仙ヶ岳東峰(1200)-0:20=西峰(1220,1250)-0:10=白谷分岐(1300)-2:00=営林署小屋跡(1500)-0:40=林道終点(1540)-0:10=ピックアップ(1550)=0:10=坂本棚田駐車場(1600,1620)=0:25=鈴鹿IC(1645)=豊田南IC=自宅(1745)



日誌:

鈴鹿ICを降り石水溪を目指す。R302から坂本棚田の道標に従い数分走ると左手に棚田、右手に新しい15台ほどの駐車場に着く。棚田百選の案内板、トイレもあり、建設中の管理事務所と併設の人口池は今夏には完成するようだ。目当てのミツマタ群生は矢原川沿いの杉林から最初に渡渉する辺りからで最盛期は1週間前か? 幾人かのカママンを見かける。しだいに斜度を増す支尾根から仙鷄尾根へと合流するが登山道は少し手前からトラバースしていた。積雪3cmに薄い踏跡があり10分で明るい車道に出る。電波塔と表参道へと分けるがどちらからでも野登寺へ行くことができる。表参道経由で進むと広い野登寺駐車場に立派な山門がある。山頂は右手に進むようだが参拝を先に済ませると記帳を勧められ、記念にお札と紅白の落雁をいただき、湯茶の接待とお寺の歴史も伺えた。4/7-8は五穀祭だそうで幸運であった。建物裏から山頂に行くと聞いたが車道終点に電波塔のみ。さらに東にもうひとつの電波塔を目視できたが進むべき道がなく、野登山断念。そのまま車道を左回りに戻り仙ヶ岳を目指せばヤセ尾根に昨日の雪が一部残る程度。東峰から西峰山頂へ向う斜面にはショウジョハカマが咲いていた。360°の展望から北方向に白い藤原岳、御在所岳、台形の宮路岳と緩急激しい仙ヶ岳南尾根が印象に残る。白谷の下山路は右岸、左岸、谷芯、高巻きを幾度も繰り返しながら、前方の赤テープ、ケルンを忙しく追った。美しい沢に飽きることなく、梯子、丸太橋を慎重に通過すると倒壊寸前の小屋跡に出る。しだいに登山道はハイウェイなみになり後続の夫妻と10数台可ほどの広い林道終点に出る。残り車道を覚悟して10分ほど歩くと先程の夫妻の車の窓が開き「乗っていきますか?」...ありがたいお誘いで嬉しかった。坂本棚田のミツマタ観賞には遅かったが少々渋滞で早い帰宅となった。

感想:

目的以上に幸運な1日。野登山、仙ヶ岳を目指すならば、脚力に合わせ小岐須溪谷からの周回コースがお勧めです。